

小羽山小コミスク通信



令和5年10月20日

本校では、2学期より地域学校協働活動支援員の方にお口添えいただきながらさまざまな学習支援ボランティアの皆さんに学習支援に入ってくださいています。近況を以下にご紹介します。

まちの「すてき」を地域の方と一緒に発見！

～2年 生活科「まちたんけん」～



9月末より4回に分けて北小羽山・南小羽山・東小羽山・広田の各コースを「まちたんけん」に出かけました。その際、約40名の子どもたちが安全に活動できるよう見守っていただくために、各3名のボランティアの皆さんにお手伝いいただきました。

各コースを通学路などで通ったことのある子どもたちもボランティアの方々から語られるコース周辺の昔の様子を「へえ～、知らなかった！」と興味津々に聞いていました。実際に自分の足で歩き、目で確かめ、耳で聞くなど五感を通して自分たちが住む地域のことにますます関心をもつことができました。

一人ひとりに寄り添った丁寧な指導

～6年 家庭科「思いを形にして生活を豊かに」～



6年生は「自分で作ったナップザックを修学旅行に持っていく」ことを目標に、ミシン縫いに挑戦します。

ミシンの操作で困っている子どもたちに対して、4名のボランティアの皆さんが一人ひとりの思いや願いを優しく受けとめ、

的確なアドバイスやミシン操作のサポートをしてくださいました。おかげで、恥ずかしさからか、なかなか自分の意見が伝えられない子どもも安心してボランティアの方と困っていることを相談し、納得のいく作品に仕上げることができました。